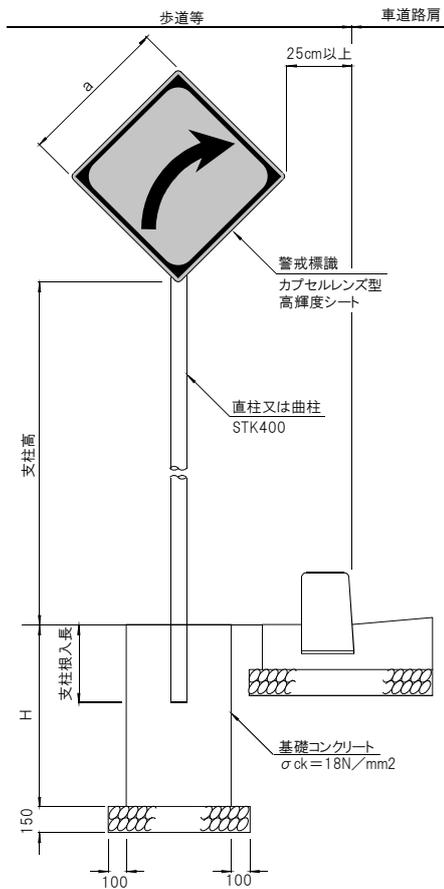


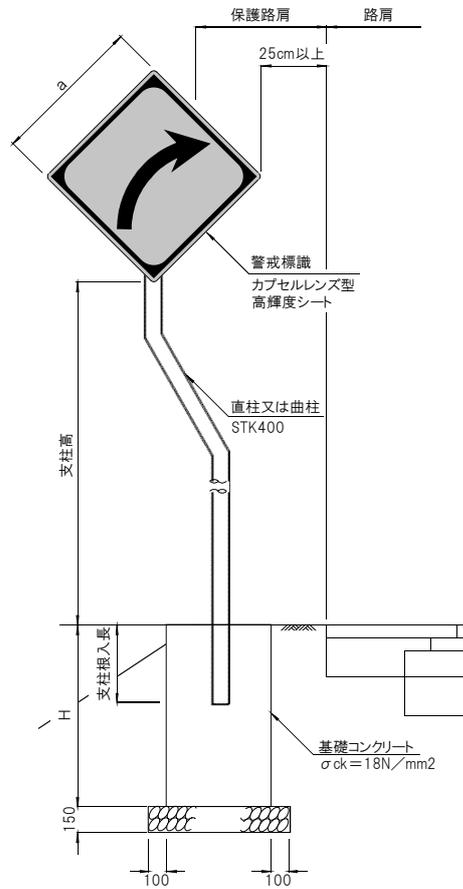
第6章 安全施設工

警戒標識 WS

歩道等に設置する場合



保護路肩等に設置する場合



注意事項

- 警戒標識板の倍率は、表-1のとおりとする。
- 警戒標識板は、カプセルレンズ型（高輝度シート）を標準とする。
- 標識を歩道等（歩道、自転車道、自転車歩行者道をいう。以下同じ。）に設置する場合で、路上施設を設置するための帯状の部分がなく、かつ十分な歩道等の幅員を確保できない場合は、支柱高を2.5mとする。
- 寸法表の基礎形状は、方形、円形（スパイラルダクト）によらず適用できる。
- 保護路肩等に基礎を設置（基礎が法面からはみ出る）する場合は、実際の設置箇所に応じて安定計算を行い、断面が不足していないか確認すること。
- 基礎が舗装面に埋設される場合には、舗装部分の抵抗を考慮に入れ、基礎の高さを70%まで低減したH'としてよい。

表-1

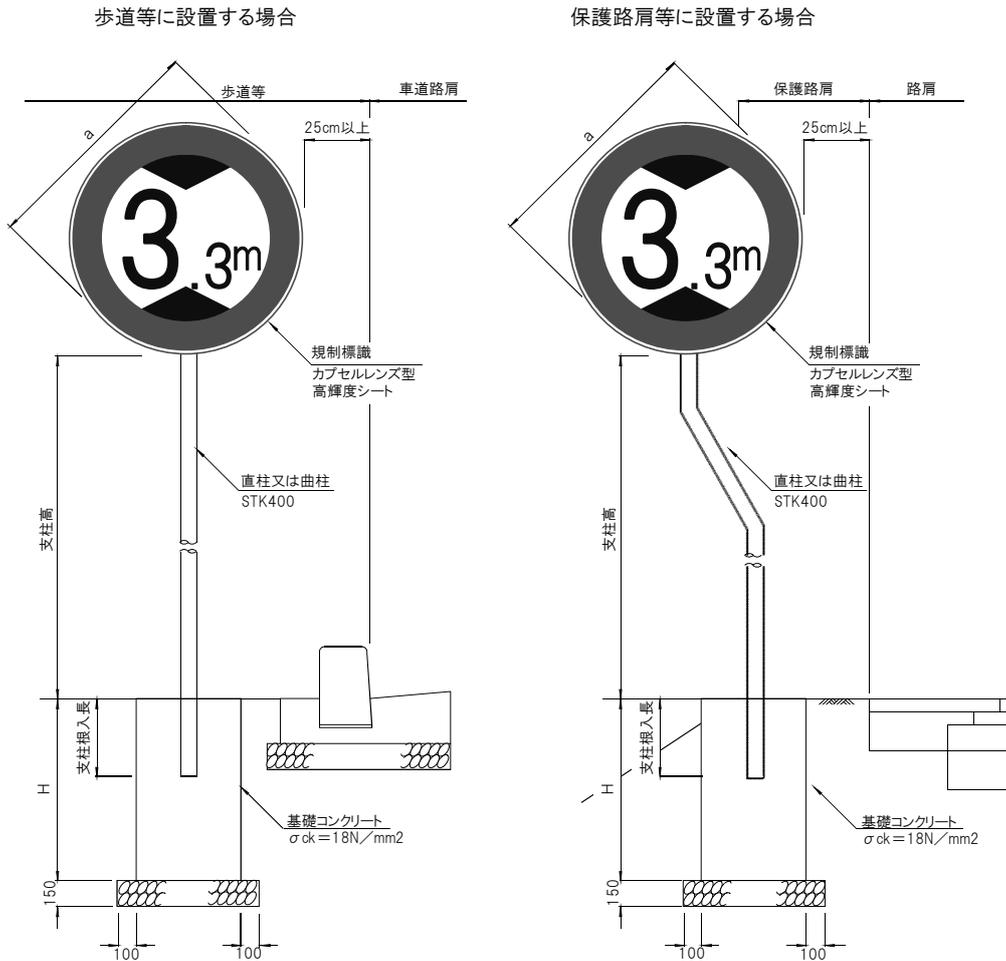
道路種別	標識倍率		
	1.3倍	1.6倍	2.0倍
地域高規格道路			○
その 他路	一般国道	○	
	主要地方道	○	△
	一般県道	○	△
市町村道	○	△	

△…4車線道路の場合、1.6倍可

寸法表

標識枚数	標識倍率	支柱高 (mm)	寸法表												
			標識板及び支柱			基礎幅300mmの場合		基礎幅400mmの場合		基礎幅500mmの場合		基礎幅600mmの場合		基礎幅800mmの場合	
			a (mm)	支柱 外径×肉厚 (mm)	支柱 根入長 (mm)	H (mm)	H' (mm)								
1枚	1.3	2500	585	60.5×2.3	200	1100	800	1000	700	800	600	600	500		
	1.6		720	76.3×2.8	200	1200	900	1100	800	900	700	800	600		
	2.0		900	89.1×3.2	200			1300	1000	1100	800	1000	700		
	1.3	1800	585	60.5×2.3	200	900	700	800		600					
	1.6		720	76.3×2.8	200	1200	900	1000		900		700	500		
	2.0		900	76.3×2.8	200			1200		1000		800	600		
2枚	1.3	2500	585	89.1×3.2	200			1200	900	1000	700	900	700		
	1.6		720	101.6×4.2	300			1400	1000	1200	900	1100	800	800	600
	2.0		900	114.3×4.5	300					1500	1100	1400	1000	1100	800
	1.3	1800	585	76.3×2.8	200	1200	900	1100	800	900	700	800	600		
	1.6		720	89.1×3.2	200			1300	1000	1200	900	1000	700		
	2.0		900	101.6×4.2	300			1600	1200	1500	1100	1300	1000	1000	700

規制標識 RS



注意事項

- 規制標識板の倍率は、表-2のとおりとする。ただし、自転車専用（標識番号325の5）、自転車及び歩行者専用（標識番号325の3）、歩行者専用（標識番号325の4）については、1.0倍とする。
- 規制標識板は、カプセルレンズ型（高輝度シート）を標準とする。
- 標識を歩道等（歩道、自転車道、自転車歩行者道をいう。以下同じ。）に設置する場合で、路上施設を設置するための帯状の部分がなく、かつ十分な歩道等の幅員を確保できない場合は、支柱高を2.5mとする。
- 寸法表の基礎形状は、通行止め（標識番号301）～歩行者専用（標識番号325の4）までを対象としており、方形、円形（スパイラルダクト）によらず適用できる。
- 保護路肩等に基礎を設置（基礎が法面からはみ出る）する場合は、実際の設置箇所に応じて安定計算を行い、断面が不足していないか確認すること。
- 基礎が舗装面に埋設される場合には、舗装部分の抵抗を考慮に入れ、基礎の高さを70%まで低減したH'としてよい。

表-2

道路種別		標識倍率		
		1.0倍	1.5倍	2.0倍
地域高規格道路				○
そ道の 他路	一般国道		○	
	主要地方道	○	△	
	一般県道	○	△	
	市町村道	○	△	

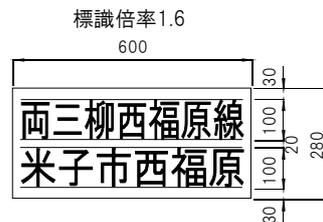
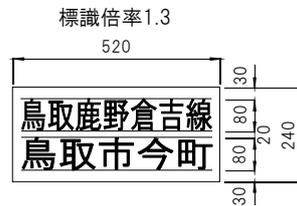
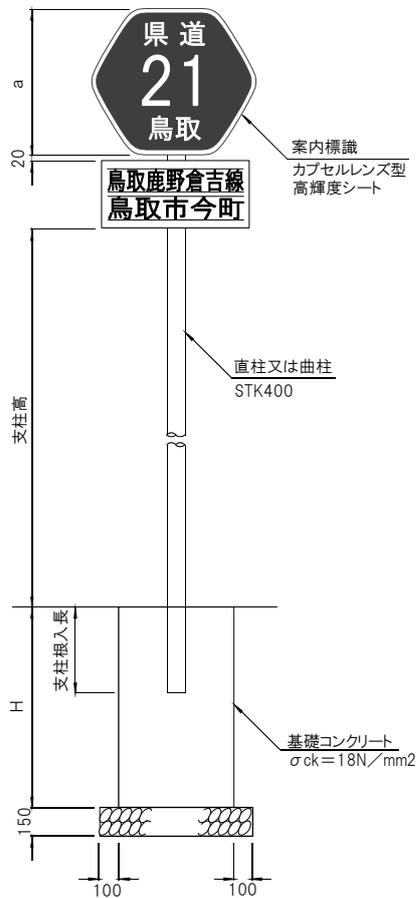
△…4車線道路の場合、1.6倍可

寸法表

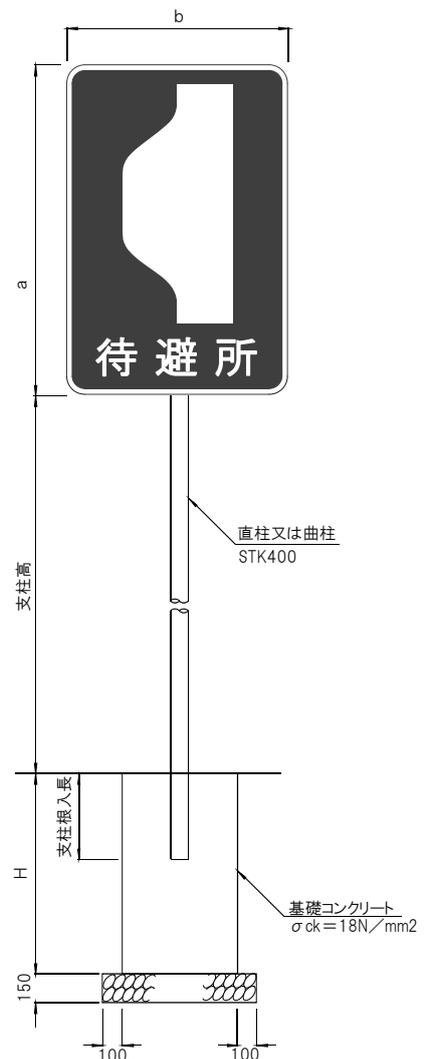
標識枚数	標識倍率	支柱高 (mm)	寸法表												
			標識板及び支柱			基礎幅300mmの場合		基礎幅400mmの場合		基礎幅500mmの場合		基礎幅600mmの場合		基礎幅800mmの場合	
			a (mm)	支柱 外径×肉厚 (mm)	支柱 根入長 (mm)	H (mm)	H' (mm)								
1枚	1.0	2500	600	60.5×2.3	200	1000	700	900	700	700	500	600	500		
	1.5		900	76.3×2.8	200	1200	900	1100	800	900	700	800	600		
	2.0		1200	101.6×4.2	300			1400	1000	1300	1000	1100	800	80	100
	1.0	1800	600	60.5×2.3	200	800	600	800	600						
	1.5		900	76.3×2.8	200	1200	900	1000	700	900	700	700	500		
	2.0		1200	89.1×3.2	200			1300	1000	1100	800	1000	700		
2枚	1.0	2500	600	76.3×2.8	200	1200	900	1100	800	900	700	800	600		
	1.5		900	101.6×4.2	300			1500	1100	1400	1000	1200	900	90	100
	2.0		1200	114.3×4.5	300					1600	1200	1400	1000	110	100
	1.0	1800	600	76.3×2.8	200	1200	900	1000	700	900	700	700	500		
	1.5		900	89.1×3.2	300			1400	1000	1300	1000	1100	800	80	100
	2.0		1200	101.6×4.2	300			1600	1200	1400	1000	1300	1000	100	100

案内標識 IS

都道府県道番号(標識番号118の2-A)
地名(標識番号512)

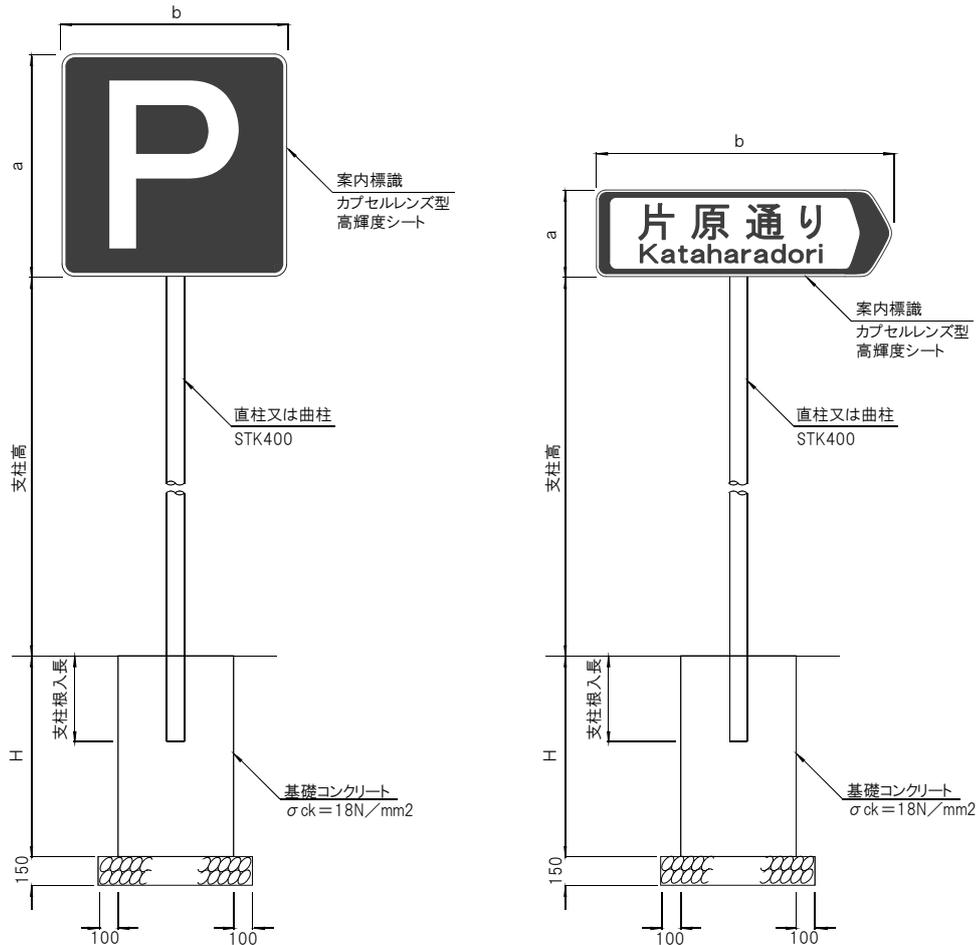


待避所(標識番号116の3)



駐車場(標識番号117-A)

道路の通称名(標識番号119-A)



注意事項

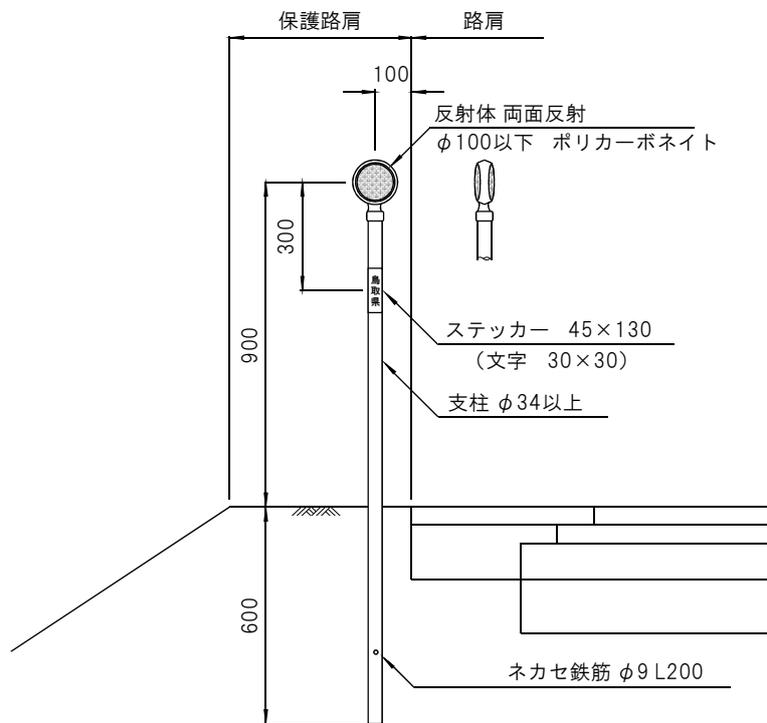
- 案内標識板の倍率は、4車線道路の場合は1.6倍とし、それ以外の場合は1.3倍とする。
- 案内標識板は、カプセルレンズ型(高輝度シート)を標準とする。
- 標識を歩道等(歩道、自転車道、自転車歩行者道をいう。以下同じ。)に設置する場合で、路上施設を設置するための帯状の部分がなく、かつ十分な歩道等の幅員を確保できない場合は、支柱高を2.5mとする。
- 寸法表の基礎形状は、方形、円形(スパイラルダクト)によらず適用できる。
- 保護路肩等に基礎を設置(基礎が法面からはみ出る)する場合は、実際の設置箇所に応じて安定計算を行い、断面が不足していないか確認すること。
- 基礎が舗装面に埋設される場合には、舗装部分の抵抗を考慮に入れ、基礎の高さを70%まで低減したH'としてよい。

寸法表

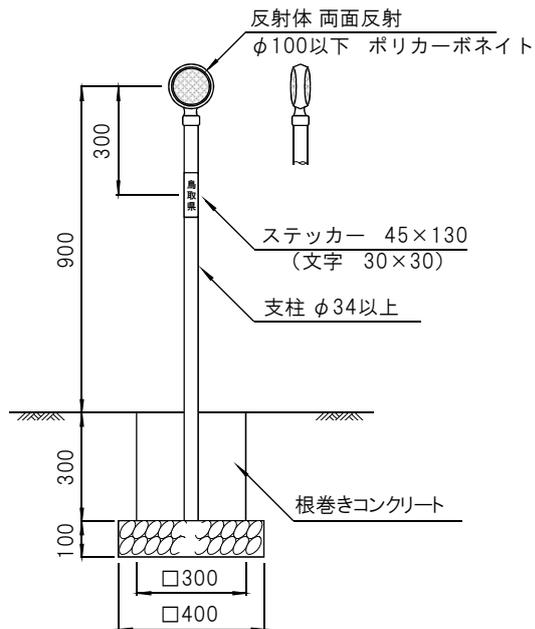
標識種別	標識倍率	支柱高 (mm)	寸法表											
			標識板及び支柱				基礎幅300mmの場合		基礎幅400mmの場合		基礎幅500mmの場合		基礎幅600mmの場合	
			a (mm)	b (mm)	支柱 外径×肉厚 (mm)	支柱 根入長 (mm)	H (mm)	H' (mm)	H (mm)	H' (mm)	H (mm)	H' (mm)	H (mm)	H' (mm)
県道番号 (118の2-A) 地名 (512)	1.3	2500	507		60.5×2.3	200	1100	800	1000	700	800	600	600	500
	1.6		624		76.3×2.8	200	1200	900	1000	700	900	700	700	500
	1.3	1800	507		60.5×2.3	200	900	700	800	600	600	500		
	1.6		624		76.3×2.8	200	1100	800	1000	700	800	600	600	500
待避所 (116の3)	1.3	2500	1170	780	101.6×3.2	200			1300	1000	1200	900	1000	700
	1.6		1440	960	101.6×4.2	300			1500	1100	1400	1000	1200	900
	1.3	1800	1170	780	76.3×2.8	200			1200	900	1100	800	900	700
	1.6		1440	960	89.1×3.2	300			1400	1000	1300	1000	1100	800
駐車場 (117-A)	1.3	2500	780	780	76.3×2.8	200	1200	900	1100	800	900	700	800	600
	1.6		960	960	89.1×3.2	200			1300	1000	1100	800	1000	700
	1.3	1800	780	780	76.3×2.8	200	1200	900	1000	700	900	700	700	500
	1.6		960	960	76.3×2.8	200			1200	900	1100	800	900	700
道路の通称名 (119-A)	1.3	2500	312	1040	60.5×2.3	200	1000	700	900	700	700	500	600	500
	1.6		384	1280	76.3×2.8	200	1200	900	1000	700	900	700	700	500
	1.3	1800	312	1040	60.5×2.3	200	900	700	800	600	600	500		
	1.6		384	1280	60.5×2.3	200	1100	800	1000	700	800	600	600	500

デリニエーター D1(土中建込)

土中用



コンクリート基礎用

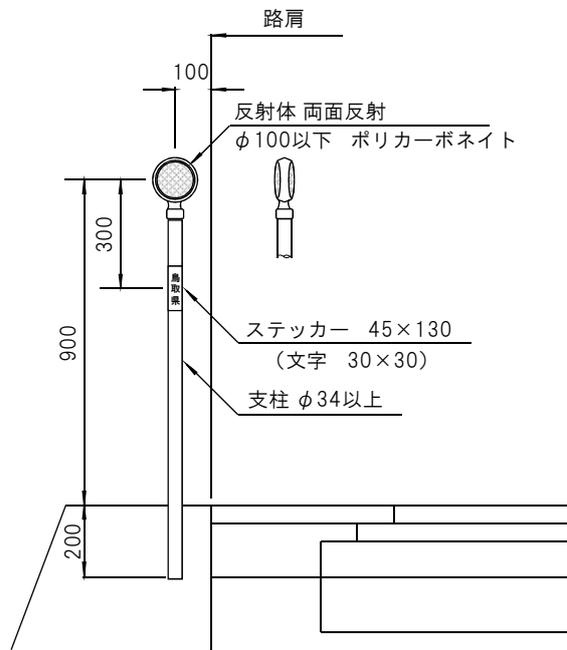


注意事項

1. デリニエーターは木製を標準とし、鳥取県認定グリーン商品の使用を原則とする。

デリニエーター D2(コンクリート建込)

コンクリート用

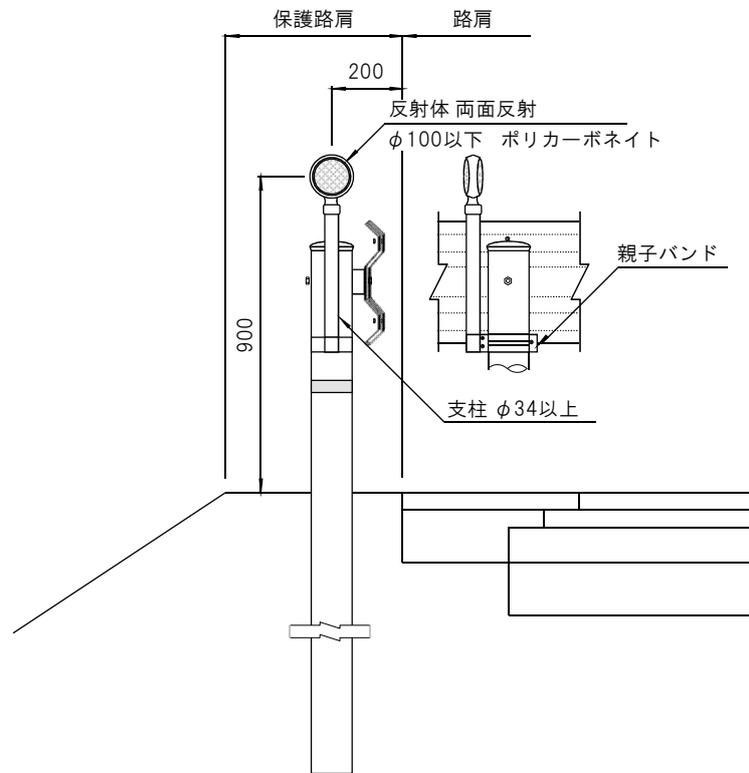


注意事項

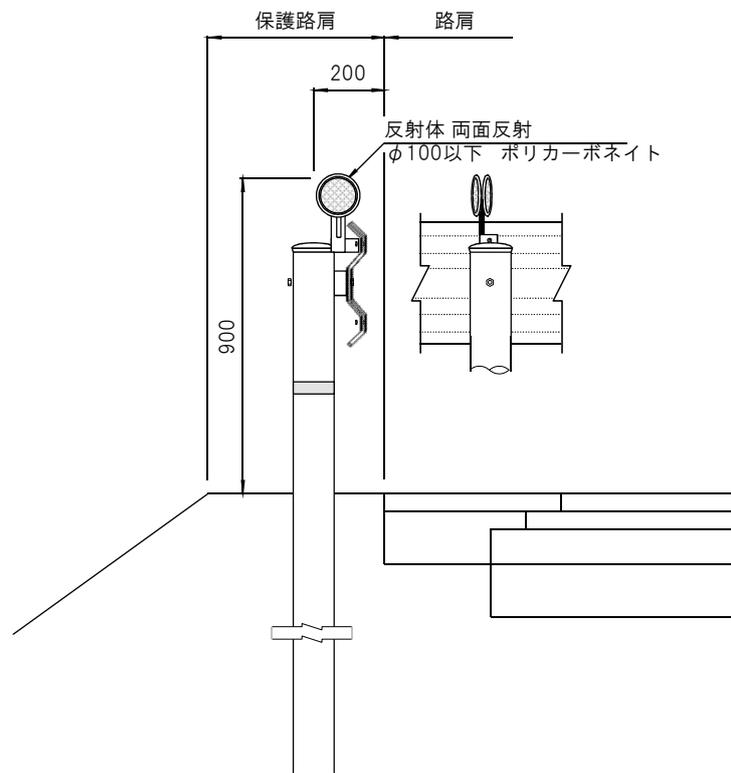
1. デリニエーターは木製を標準とし、鳥取県認定グリーン商品の使用を原則とする。

デリニエーター D3(防護柵取付)

バンド式



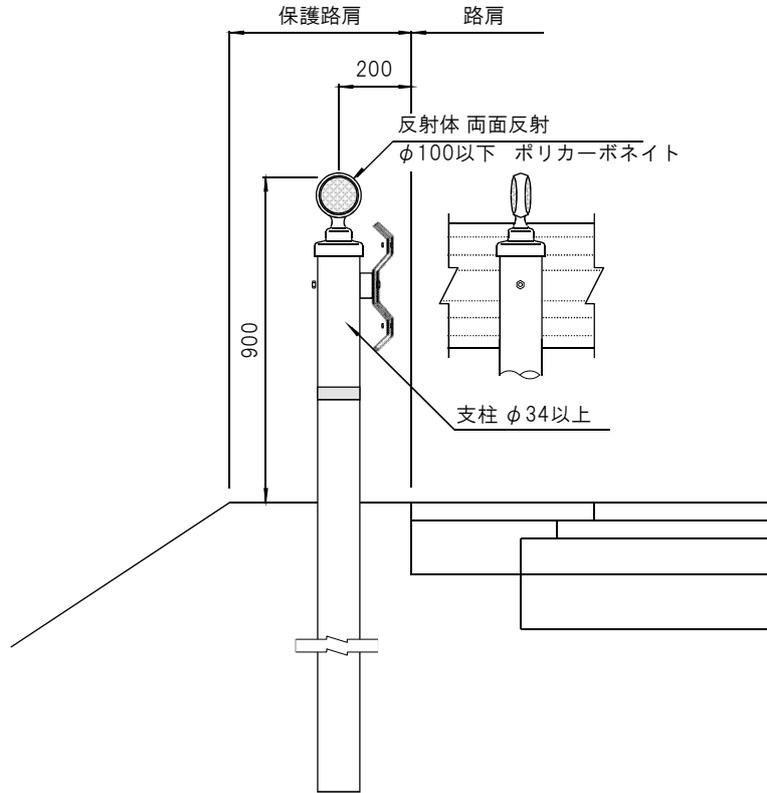
ボルト式



注意事項

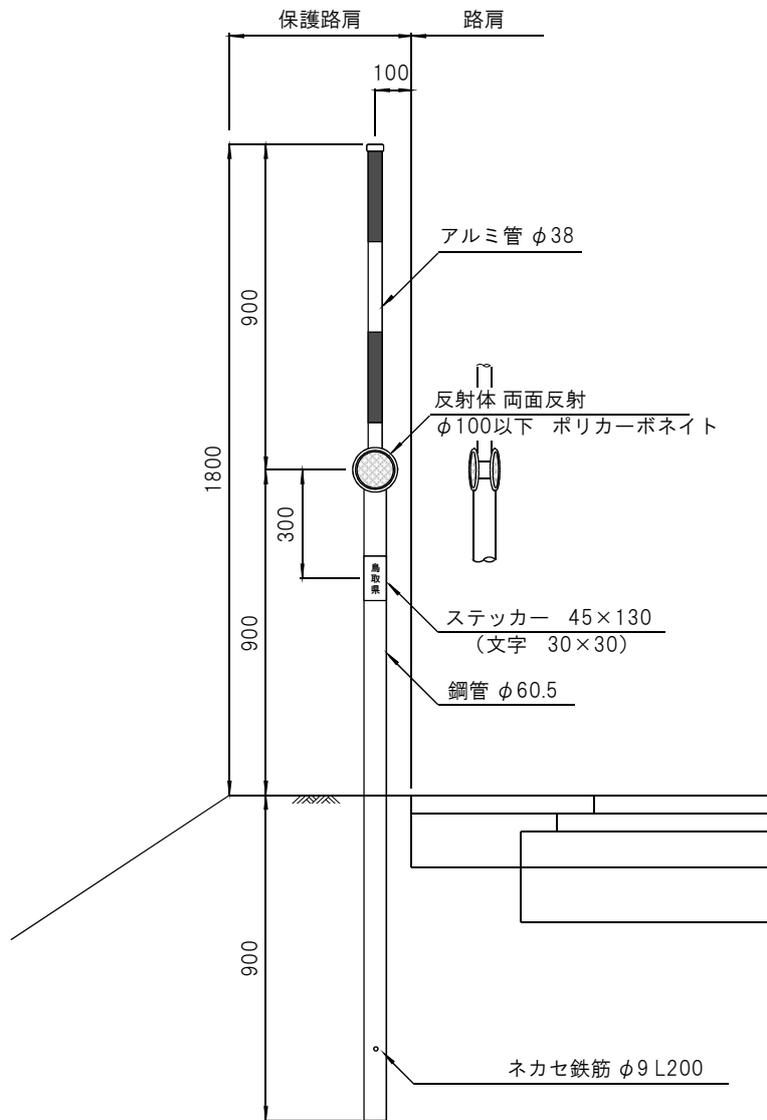
1. デリニエーターは木製を標準とし、鳥取県認定グリーン商品の使用を原則とする。

かぶせ式



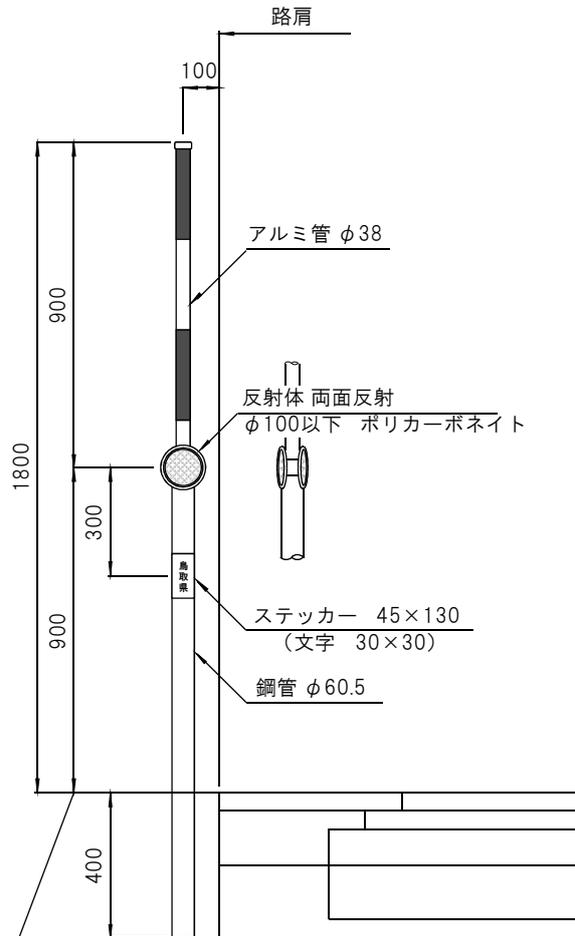
スノーポール兼用デリニエーター D4(土中建込)

土中用



スノーポール兼用デリニエーター D5(コンクリート建込)

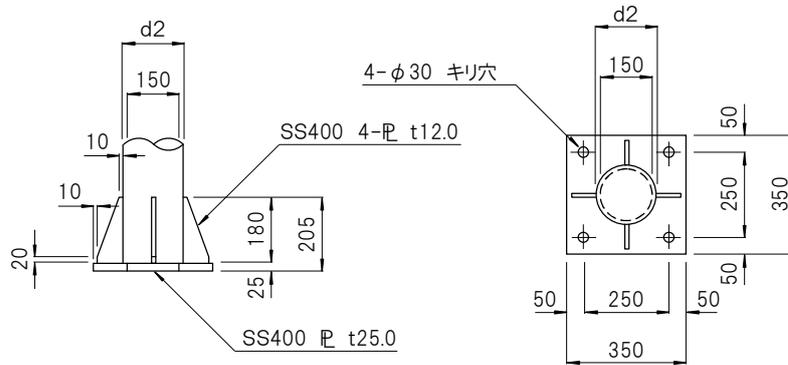
コンクリート用



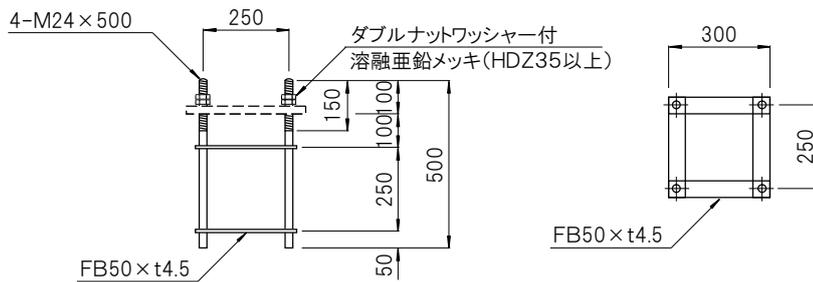
注意事項

1. 施工に当たっては、引込み線等の影響を考慮して基礎形状を照査すること。
2. ランプ、照明器具、鋼管テーパボール等各器材の仕様は、道路・トンネル照明器材仕様書（社団法人建設電気技術協会）によること。
3. 道路照明施設の設置に関する運用については、道路工事関係技術便覧（県土整備部道路企画課・道路建設課）を準拠すること。

ベースプレート



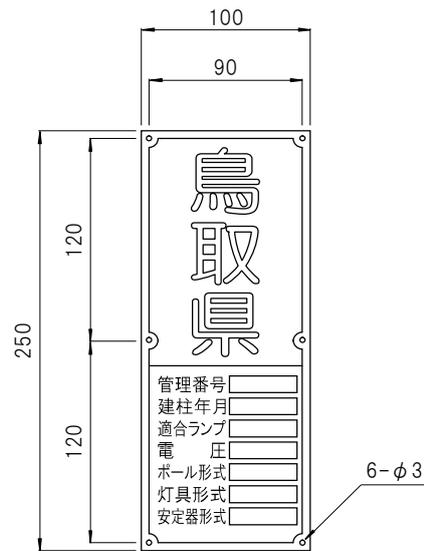
枠組アンカーボルト



注意事項

1. 枠組アンカーボルトのネジ部及びナットは、溶融亜鉛メッキ（HDZ35以上）仕上げとすること。
2. 枠組アンカーボルトの露出部分は、ビニルキャップにより保護すること。

管理銘板



注意事項

1. 管理銘版の仕様は以下のとおりとすること。

材質：0.3mm SUS304

字体：丸ゴシック

印字方法：文字は薬品腐食による凹字とし、黒色エナメルの墨入れを行うこと。

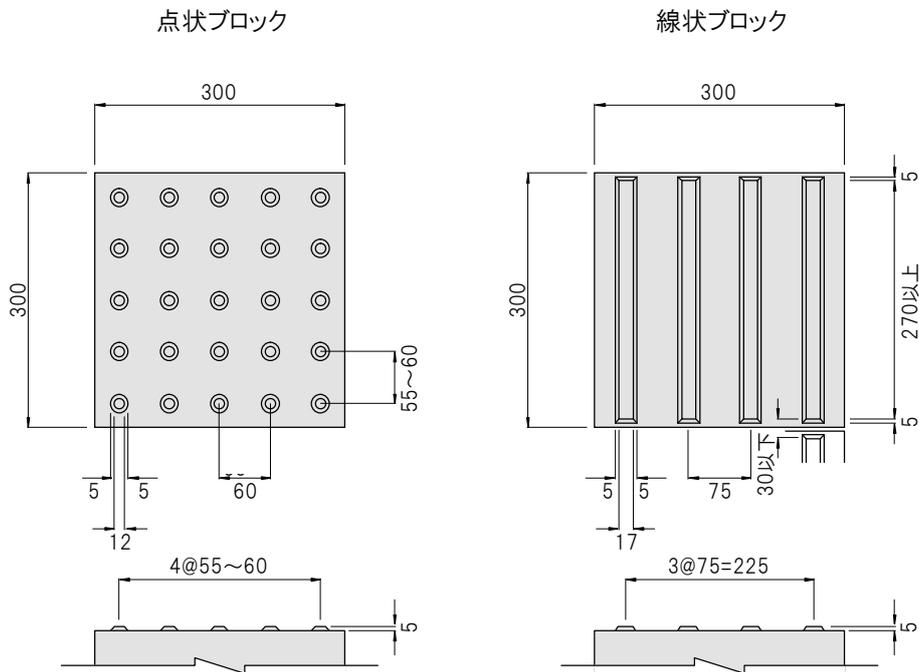
未記載文字については刻印とする。

表面処理：全表面に透明メラミン樹脂塗装の吹付処理を行う。

取付方法：ステンレスバンド止めとする。

2. 管理銘版は車道側に設置すること。

視覚障害者誘導用ブロック TB



注意事項

1. 突起の形状・寸法等は、JIS T 9251 視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列による。